

# 令和3年度 予算施策評価表

様式1

施策名	特色ある教育の推進				予算施策コード	ky03	
担当部局名	教育委員会	指導部	高校教育課	評価責任者	課長 島瀬 省吾	連絡先	4840

## 1 施策の内容

施策の目標	各学校が、地域や学校の実態、児童・生徒の個性に応じた各種の体験活動をはじめ、多様な取組を進めることにより、魅力ある学校づくりに努め、児童・生徒の個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む特色ある教育を推進する。
これまでの取組み	<p>児童・生徒一人一人の個性を伸ばし、児童・生徒が意欲的に充実した学校生活を送るとともに、社会の変化に対応できる人間形成を目的に各事業を実施している。</p> <p>○地域や学校の実態に応じたボランティア活動など社会奉仕体験活動、自然体験活動等の多様な体験活動の機会を設けることにより、児童・生徒は地域社会の中で活動することを通して、命を大切にする心や相手を思いやるやさしさ、コミュニケーション能力など、豊かな人間性や社会性を身に付けている。</p> <p>○中高一貫教育校では、6年間一貫したゆとりある教育環境を設定するとともに、学習内容の先取り、少人数指導や習熟度別授業の実施、社会貢献活動の充実等、特色ある教育を推進している。</p> <p>○国際化、情報化等の進展に対応するため、施設・設備の充実を図るとともに、社会の変化に対応した教育を推進している。</p>

## 成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	県立学校自己評価表に「特色ある取組」及び「開かれた学校づくり」に関する評価項目を掲げた学校において、成果があったと回答した学校の割合	B	自然体験活動、社会奉仕体験活動、交流体験活動を実施した学校の割合								
選択理由	各学校では、特色ある教育の推進を図るため、各校の特色を生かした学校づくりに努めるとともに、その実施状況や成果について、生徒や保護者等のアンケートなどを踏まえて自己評価を行っている。各学校の自己評価の結果を指標とする。	選択理由	各校が、自然体験や社会奉仕体験、交流体験といった様々な体験活動の取組を通して特色ある学校づくりを推進しているとみなし、指標とする。								
算定方法	自己評価において、A又はB評価(5段階の上位二つの評価)となった項目の割合が全体の60%以上であると回答した学校数/県立学校自己評価表に特色ある取組及び開かれた学校づくりに関する評価項目を掲げた学校数×100	算定方法	自然体験活動、社会奉仕体験活動、交流体験活動を実施した学校数/県内公立小中学校数								
成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラス/マイナス)	+	成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラス/マイナス)	+

## 指標・事業費・人件費の推移

区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	%			%			千円					
元年度	100	100	100.0%	100	100	100.0%	1,426,444	46,595	728,621	651,228		61,880
2年度	100	100	100.0%	100	100	100.0%	3,436,340	2,039,983	688,693	707,664	2,968,129	60,907
3年度	100	100	100.0%	100	100	100.0%	2,528,896	582,529	484,617	1,461,750	2,352,809	53,240
4年度 目標値	100			100			4年度当初予算					
最終目標	100			100								

## 2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	一人ひとりの個性に応じた心豊かでたくましい児童・生徒を育成する教育は、学校として積極的に取り組まなければならないことである。よって、特色ある教育の推進は、県全体で推進していくべきことであり、教育委員会の大きな役割である。				
高い							
成果指標A		説明	○成果動向: 県立学校自己評価表に「特色ある取組」及び「開かれた学校づくり」に関する評価項目を掲げた学校において、成果があったと回答した学校において、100%を達成した。 ○成果向上余地: 各校は、評価項目の見直しを行いながら、特色ある教育のより一層の推進に努めており、今後も成果の向上が期待できる。				
成果動向	横這い						
成果向上余地	成果向上が可能						
成果指標B		説明	○成果動向: 各校における「総合的な学習の時間」の授業や学校行事において、環境、福祉・健康、自己の在り方生き方や進路、国際理解に関する学習、職場体験、介護体験などの生徒にとって有意義な体験活動がなされている。各校では、保護者や地域と連携してより特色のある教育の推進に努めている。 ○成果向上余地: 各学校では、体験活動の指導計画や内容等について十分評価、検証しながら、生徒のより主体的な取組ができるよう改善が図られており、今後も活動の質の向上にも努めていく必要がある。				
成果動向	横這い						
成果向上余地	成果向上が可能						
参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向	2.25	順調・向上	成果向上余地	1.71	成果向上が可能	

今後予測される環境変化	各学校においては、児童・生徒に、確かな学力を身に付けさせるとともに、学校や地域の実態に応じた体験活動等を通して、豊かな人間性を育むことが求められている。今後も、生きる力を身に付けさせるための特色ある教育を一層推進し、愛媛の将来を担うことのできる人材の育成に努めていく必要がある。
-------------	---

## 3 施策の今後の方向性

<p>少子高齢化、核家族化、情報化、国際化等の社会経済の変化と、それらを背景とした人間関係や地域における連帯意識の希薄化は、家庭や地域の教育力の低下の原因であると指摘されている。そのため、各学校においては、公開授業の実施やマニフェストのHPへの公開などを通して、学校の情報発信に努めるとともに、様々な取組を実施し、特色ある教育の推進を図り、保護者や地域から信頼される、魅力ある学校づくりを目指しているところである。</p> <p>今後は、各事業の成果を踏まえ、学校や地域の実態や児童・生徒の個性に応じた特色ある教育活動の実践が重要と考えている。</p>
--

4-1 事務事業管理シート（評価対象事業）

										予算施策名				ky03	特色ある教育の推進						
<b>1 県立学校校務支援システム維持管理費</b>										コスト (単位：千円)				R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり
指標種類1	指標名称2	単位	計画	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	実績	事業費計	45,951	54,270	67,233	46,372	評価						
成果	+	70	個人情報の漏洩数	回	0	0	0	0	0	国費								見直し 方向性	方向1	このまま継続	方向2
										その他					方向1	このまま継続	方向2				
										県費	45,951	54,270	67,233	46,372				見直し 方向性	方向1	このまま継続	方向2
										事業費計	45,950	54,269	67,232		見直し 方向性	方向1	このまま継続				
										国費								見直し 方向性	方向1	このまま継続	方向2
										その他					見直し 方向性	方向1	このまま継続				
										県費	45,950	54,269	67,232					見直し 方向性	方向1	このまま継続	方向2
										人役	0.3	0.2	0.2		見直し 方向性	方向1	このまま継続				
										人件費	2,042	1,354	1,210					見直し 方向性	方向1	このまま継続	方向2
実施 期間	初期	終期	事業の概要											見直し 方向性	方向1	このまま継続	方向2				
	H29	予定・見込 があれば記入	個人情報のデータ処理を一元管理できる統合型校務支援システムをESnetの校務系ネットワーク環境内に構築し、個人情報を取り扱う事務を明確化するとともに情報の機密性を高め、教職員が安心して利用できるシステム整備を行う。															見直し 方向性	方向1	このまま継続	方向2
<b>2 理科教育等設備充実費</b>										コスト (単位：千円)				R元年度	R2年度	R3年度	R4年度				
指標種類1	指標名称2	単位	計画	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	実績	事業費計	7,744	7,744	7,744	7,744	評価						
成果	+	ストック	理科教育設備（備品）の整備率	%	12.0	12.0	12.0	12.0	20.0	国費	3,872	3,872	3,872	3,872					見直し 方向性	方向1	このまま継続
										その他	3,872	3,872	3,872	3,872	見直し 方向性	方向1	このまま継続	方向2			
										県費	3,872	3,872	3,872	3,872					見直し 方向性	方向1	このまま継続
										事業費計	7,724	6,448	7,188		見直し 方向性	方向1	このまま継続	方向2			
										国費	3,862	3,224	3,594						見直し 方向性	方向1	このまま継続
										その他	3,862	3,224	3,594		見直し 方向性	方向1	このまま継続	方向2			
										県費									見直し 方向性	方向1	このまま継続
										人役	0.1	0.1	0.1		見直し 方向性	方向1	このまま継続	方向2			
										人件費	681	677	605						見直し 方向性	方向1	このまま継続
実施 期間	初期	終期	事業の概要											見直し 方向性	方向1	このまま継続	方向2	方向3			
	S57	予定・見込 があれば記入	理科教育の充実を図るため、理科教育に使用する設備を整備し科学技術の進展に対応した基礎的な知識・技術の習得を目指す。(国庫補助事業)																見直し 方向性	方向1	このまま継続
<b>3 愛媛県高等学校定時制通信制教育振興会補助金</b>										コスト (単位：千円)				R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向			
指標種類1	指標名称1	単位	計画	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	実績	事業費計	200	200	200	200	評価						
成果	+	70	全ての大会の参加者数（代替指標）	人	680	680	680	680	0	国費								見直し 方向性		方向1	このまま継続
										その他					見直し 方向性	方向1	このまま継続		方向2		
										県費	200	200	200	200				見直し 方向性		方向1	このまま継続
										事業費計	200	200	200		見直し 方向性	方向1	このまま継続		方向2		
										国費								見直し 方向性		方向1	このまま継続
										その他					見直し 方向性	方向1	このまま継続		方向2		
										県費	200	200	200					見直し 方向性		方向1	このまま継続
										人役	0.2	0.2	0.2		見直し 方向性	方向1	このまま継続		方向2		
										人件費	1,362	1,354	1,210					見直し 方向性		方向1	このまま継続
実施 期間	初期	終期	事業の概要											見直し 方向性	方向1	このまま継続	方向2		方向3		
	S38	予定・見込 があれば記入	定時制通信制に学ぶ生徒たちが自己実現を目指して充実した高校生活を送るため、振興会を通して、生活体験発表大会、軟式野球大会、競技大会などの各種行事を充実させることにより、生徒のモチベーションを上げ、定通教育の充実を図る。															見直し 方向性		方向1	このまま継続

4 愛媛県産業教育振興会補助金		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい
指標種類1	指標名称1	単位	計画	2,100	2,100	2,100	2,100	-	事業費計	200	200	200	200	新型コロナウイルス感染症の影響で、各種研究会等がオンライン開催や縮小開催となるなど、十分な活動ができなかったが、高校における農業・工業・商業・水産・家庭・看護の各学科の教員・生徒に対する研究助成や各種研究発表会への生徒派遣等の事業を行う本補助金の活用は、産業教育推進のために、今後も有用であると考えられる。	方向1 このまま継続 方向2 方向3	向上余地 1成果向上余地が小さい
成果	+	70-	各種研究会等への参加人数	人	実績	2,100	2,204	4,613	国費							
			達成率	100.00%	104.95%	219.67%		その他								
指標種類2	指標名称2	単位	計画	18	18	18	18	-	事業費計	200	200	200	200			
活動	+	70-	各種研究会等の開催回数	回	実績	21	31	22	国費							
			達成率	116.67%	172.22%	122.22%		その他								
指標種類3	指標名称3	単位	計画					-	事業費計	200	200	200	200			
			実績					国費								
			達成率	-	-	-		その他								
			達成率	-	-	-		県費	200	200	200	200				
実施期間	初期	終期	事業の概要					人役	0.1	0.1	0.1					
	S41	予定・見込があれば記入	高校における農業・工業・商業・水産・家庭・看護の各学科の教員・生徒に対する研究助成や各種研究発表会への生徒派遣等の事業を行う産業教育振興会に対して経費の一部を補助し、産業教育の一層の振興を図る。					人件費	681	677	605					

5 環境教育推進事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい
指標種類1	指標名称1	単位	計画	100	100	100	100	-	事業費計	1,004	1,004	1,004	1,004	全ての研究推進校において、研究発表会等を行い、近隣の小・中学校、高等学校に成果の普及を図ることができた。	方向1 このまま継続 方向2 方向3	向上余地 1成果向上余地が小さい
成果	+	70-	環境教育研究推進校の環境教育の充実度		実績	100	100	100	国費							
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%		その他	1,004	1,004	1,004	1,004				
指標種類2	指標名称2	単位	計画	75	75	75	75	-	事業費計	1,004	840	1,004	1,004			
活動	+	70-	研究推進校の環境に関する平均授業時数		実績	75	75	75	国費							
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%		その他	1,004	840	1,004	1,004				
指標種類3	指標名称3	単位	計画					-	事業費計	1,004	840	1,004	1,004			
			実績					国費								
			達成率	-	-	-		その他								
			達成率	-	-	-		県費								
実施期間	初期	終期	事業の概要					人役	0.2	0.2	0.2					
	H20		産業廃棄物の排出抑制や減量化、資源の循環的な利用についての理解を深めるため、研究推進校を指定して実践的な研究に取り組み、その成果を県内に普及する。					人件費	1,362	1,354	1,210					

6 えひめジョブチャレンジU-15事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	2一定の成果向上余地あり
指標種類1	指標名称1	単位	計画	3,000	4,500	4,500	4,500	-	事業費計	12,394	9,182	8,777	8,632	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、5日間の職場体験学習を実施できた学校は、33校だったが、その他の学校も、期間を変更・短縮して、職場体験学習又は代替の教育活動を全中学校で実施しており、生徒が地域の産業や地元で働く魅力について知る機会をつくることができた。	方向1 このまま継続 方向2 方向3	向上余地 2一定の成果向上余地あり
成果	+	70-	職場体験学習を受け入れた企業数(延べ数)	箇所	実績	4,479	777	1,822	国費	5,269	4,535	4,332	4,260			
			達成率	149.30%	17.27%	40.49%		その他								
指標種類2	指標名称2	単位	計画	131	131	129	126	-	事業費計	7,125	4,647	4,445	4,372			
活動	+	70-	5日間の職場体験学習を実施した学校数	校	実績	130	4	33	国費	5,626	3,538	4,084	4,084			
			達成率	99.24%	3.05%	25.58%		その他	2,310	1,890	2,042	2,042				
指標種類3	指標名称3	単位	計画					-	事業費計	7,125	4,647	4,445	4,372			
			実績					国費								
			達成率	-	-	-		その他								
			達成率	-	-	-		県費	3,316	1,648	2,042	2,042				
実施期間	初期	終期	事業の概要					人役	0.5	0.5	0.5					
	H29	R4	中学生段階での望ましい勤労観や職業観の育成を図り、地域の魅力、よさを発見するため、5日間の職場体験学習を実施する。					人件費	3,403	3,383	3,025					

7 愛ある愛媛の道徳教育推進事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい
指標種類1	指標名称1	単位	計画	100	100	100	100	-	事業費計	7,338	7,324	7,173	7,174	各研究推進校が、学校や地域の実態を踏まえ、創意工夫を生かした道徳教育を展開しており、研究発表会の開催や推進校の研究発表をまとめたブックレットの配付等、その成果を普及することによって、県内道徳教育が改善されている。	方向1 このまま継続 方向2 方向3	向上余地 1成果向上余地が小さい
成果	+	70-	各学校における道徳科の年間指導計画に、県版道徳用教材を位置付けている学校の割合	%	実績	100	100	100	国費	7,338	7,324	7,173	7,174			
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%		その他								
指標種類2	指標名称2	単位	計画	90	90	90	90	-	事業費計	6,540	0	4,856	4,856			
成果	+	70-	推進校の研究発表会における参加者の満足度	%	実績	99	0	99	国費	6,540	0	4,856	4,856			
			達成率	110.00%	0.00%	110.00%		その他								
指標種類3	指標名称3	単位	計画	6	6	6	6	-	事業費計	6,540	0	4,856	4,856			
			実績	6	0	6	6	国費								
			達成率	100.00%	0.00%	100.00%		その他								
			達成率	100.00%	0.00%	100.00%		県費								
実施期間	初期	終期	事業の概要					人役	0.5	0.5	0.5					
	H21		学校・家庭・地域が一体となった道徳教育を推進するため、研究推進校を指定し、実践研究を行うとともに、道徳教育推進教師の資質向上を図る研修を実施する。					人件費	3,403	3,383	3,025					

8 えひめ情報リテラシー向上事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R7)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり													
指標種類1	指標名称1	単位	計画	90.0	90.0	90.0	90.0	事業費計	0	11,915	3,288	3,234	評価 全ての学校で学習用アプリが活用されており、ネットトラブル等に対応する力や情報の真偽を見極める力を授業や短学活で育成していることが伺え、情報リテラシー向上への意識の高揚が図られている。																
成果	+	70-	ネットトラブルにあっていない児童生徒の割合(小4~中3)	%	実績	82.6	88.7	予算	国費								事業費計	0	11,915	3,288	3,234								
					達成率	91.78%	98.56%															決算	国費			事業費計	0	11,912	3,287
					計画	100	100																						
指標種類2	指標名称2	単位	計画	100	100	100	100	その他									事業費計	0	11,915	3,288	3,234								
活動	+	70-	開発した学習用アプリを授業等で活用した小中学校の割合	%	実績	96	100	決算	国費													事業費計	0	11,912	3,287	3,234			
					達成率	96.00%	100.00%																				決算	国費	
					計画																								
指標種類3	指標名称3	単位	計画					その他									事業費計	0	11,912	3,287	3,234								
活動	+	70-	開発した学習用アプリを授業等で活用した小中学校の割合	%	実績			決算	国費													事業費計	0	11,912	3,287	3,234			
					達成率								決算	国費													事業費計	0	11,912
					計画																								
実施期間	初期	終期	事業の概要					人役		0.3	0.3		見直し方向性	方向1	このまま継続	方向2	方向3												
R2	R7	児童生徒が主体的に情報等を選択・活用する能力を育成するため、小・中学生を対象とした学習用アプリを開発する。					人件費		2,030	1,815																			

9 高等学校地域協働推進事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり										
指標種類1	指標名称1	単位	計画	319	521	757	-	事業費計	15,509	15,505	9,904	0	評価 自治体・高等教育機関・産業界等と協働してコンソーシアムを構築するとともに、高等学校と関係機関の協力体制を整備し、地域活性化の核としての高等学校の機能を向上させることができた。													
成果	+	70-	将来、自分の住んでいる地域に役に立ちたいと思う生徒の人数	人	実績	348	480	504	予算	国費	15,509	15,505					9,904	事業費計	15,509	15,505	9,904					
					達成率	109.09%	92.13%	66.58%														決算	国費	14,210	9,912	9,376
					計画	15	59	84																		
指標種類2	指標名称2	単位	計画	15	59	84	-	その他									事業費計	14,210	9,912	9,376						
活動	+	70-	コンソーシアムに参加する企業等の延べ数	回	実績	15	62	120	決算	国費	14,210	9,912									9,376	事業費計	14,210	9,912	9,376	
					達成率	100.00%	105.08%	142.86%																		決算
					計画	6	10	14									6	11	21	14,210						
指標種類3	指標名称3	単位	計画	6	10	14	-	その他									事業費計	14,210	9,912	9,376						
活動	+	70-	発表会延べ実施回数	回	実績	6	11	21	決算	国費	14,210	9,912									9,376	事業費計	14,210	9,912	9,376	
					達成率	100.00%	110.00%	150.00%					決算	国費	14,210	9,912										9,376
					計画																					
実施期間	初期	終期	事業の概要					人役	0.2	0.2	0.2	見直し方向性	方向1	休止・廃止	方向2	方向3										
R1	R3	高等学校が地域の産業界等と協働してコンソーシアムを構築し、地域課題の解決等の探究的な学びを実現する取組を推進する。					人件費	1,362	1,354	1,210																

10 えひめ未来創造人材育成事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R5)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり													
指標種類1	指標名称2	単位	計画		75	75	80	事業費計	0	0	5,287	6,487	評価 指定校において、情報を活用する力の育成や、成年年齢の引き下げへの対応、地方創生への取組などの現代社会の課題解決に向けた活動が実施できた。また、全ての県立高等学校等において、政治・選挙や消費者問題への関心を高めるための体験的活動等や、地域社会との共生を図る活動を企画し、意識の向上につながった。																
成果	+	70-	事業実施前後において、政治的関心の高まった生徒の割合	%	実績		78.4	予算	国費								事業費計	0	0	5,287	6,487								
					達成率	-	104.53%															決算	国費			事業費計	0	0	3,683
					計画		80																						
指標種類2	指標名称3	単位	計画		80	80		その他									事業費計	0	0	3,683									
成果	+	70-	事業実施前後において、幼児、高齢者への理解が高まった生徒の割合	%	実績		90.8	決算	国費												事業費計	0	0	3,683					
					達成率	-	113.50%																		決算	国費			事業費計
					計画		7										7												
指標種類3	指標名称1	単位	計画		7	7	7	その他									事業費計	0	0	3,683									
活動	+	70-	えひめスーパーハイスクールでの成果発表校数	校	実績		7	決算	国費												事業費計	0	0	3,683					
					達成率	-	100.00%						決算	国費											事業費計	0	0	3,683	
					計画																								
実施期間	初期	終期	事業の概要					人役			0.2	見直し方向性	方向1	このまま継続	方向2	方向3													
R3	R5	高校生が、地域の課題について地域社会と連携しながら解決を図る体験的な活動を実施し、安心・安全に住み続けられる街づくりや、地域に生きる主権者として望ましい合意形成の在り方等について学習することを通して、持続可能な社会の実現に向け、地域社会で主体的に活動できる人材の育成を図る。					人件費			1,210																			

11 外国語指導助手招致事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	2成果低迷している	向上余地	2一定の成果向上余地あり													
指標種類1	指標名称2	単位	計画	0.2	0.4	0.4	0.4	事業費計	74,774	62,880	122,181	122,973	評価 R3年度について、外国語指導助手を24名配置することとしていたが、新型コロナウイルス等の影響により、新規招致予定者のうち4名が来日できなかった。																
成果	+	70-	外国語指導助手が1週間に担当の高等学校等1クラスを訪問する回数	回	実績	0.2	0.1	0.3	予算	国費							事業費計	74,774	62,880	122,181	122,973								
					達成率	100.00%	25.00%	75.00%														決算	国費			事業費計	72,681	45,920	80,432
					計画	14	24	24																					
指標種類2	指標名称1	単位	計画	14	24	24	24	その他									事業費計	72,681	45,920	80,432									
活動	+	70-	外国語指導助手の招致人数	人	実績	14	6	20	決算	国費		6,932									事業費計	72,681	45,920	80,432					
					達成率	100.00%	25.00%	83.33%																	決算	国費		6,932	
					計画																								
指標種類3	指標名称3	単位	計画					その他									事業費計	72,681	45,920	73,500									
活動	+	70-	外国語指導助手の招致人数	人	実績				決算	国費											事業費計	72,681	45,920	73,500					
					達成率	-	-	-					決算	国費											事業費計	72,681	45,920	73,500	
					計画																								
実施期間	初期	終期	事業の概要					人役	0.5	0.5	0.5	見直し方向性	方向1	このまま継続	方向2	方向3													
S62		文部科学省、総務省、外務省の協力を得て、地方公共団体の単独事業として外国青年を招致し、外国語指導助手として高等学校等における語学指導等を行うとともに、授業以外の場でも積極的に活用することにより、豊かな国際感覚を身に付けた生徒の育成を図る。					人件費	3,403	3,383	3,025																			

12 えひめ次世代マイスター育成事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり							
指標種類1	指標名称1	単位	計画	80	80	-	-	事業費計	0	13,300	13,300	14,410	評価	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり							
成果	+ 70-	専門分野の企業に就職した生徒の割合	%	実績	73.0	74.8		国費		5,100	6,934	7,493											
				達成率	91.25%	93.50%		その他															
				計画	90	90		県費		8,200	6,366	6,917											
指標種類2	指標名称2	単位	計画	90	90	-	-	事業費計	0	8,195	6,818	見直し方向性					方向1 見直し(拡大・縮小・執行方法の改善等)	方向2	方向3 成果向上				
活動	+ 70-	実技指導や講演会の実施回数	回	実績	196	320		国費		4,747	4,305												
				達成率	217.78%	355.56%		その他															
				計画				県費		3,448	2,513												
指標種類3	指標名称3	単位	計画					人役		0.3	0.3									見直し方向性	方向1 見直し(拡大・縮小・執行方法の改善等)	方向2	方向3 成果向上
				実績				人件費		2,030	1,815												
				達成率	-	-		事業の概要															
				計画				令和4年度からは「えひめ未来マイスター育成事業費」として、新たに、家庭科、福祉系高校等を追加し、全ての職業学科において、地域や産業界と連携した実践的な取組を通して、各専門分野の卓越した技術・技能を身に付けるとともに、県内企業への理解を深める取組を通して、将来、地域産業を支える専門的職業人を育成する。															
実施期間	初期	終期	事業の概要																				
	R2	R3	農業、工業、商業、水産の各分野において、地域や産業界と連携した実践的な取組を通して、地域産業を支える専門的職業人を育成する。																				

13 エネルギー教育推進事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい							
指標種類1	指標名称1	単位	計画	5	6	6	6	事業費計	10,000	10,000	10,000	10,000	評価	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい							
成果	+ 70-	支援を行った学校数	校	実績	5	6	6	国費	10,000	10,000	10,000	10,000											
				達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他															
				計画	10	10	8	7	県費														
指標種類2	指標名称2	単位	計画	10	10	8	7	事業費計	6,548	9,643	9,455	見直し方向性					方向1 このまま継続	方向2	方向3				
成果	+ 70-	学習機器を配布した学校数	校	実績	10	8	8	国費	6,548	9,643	9,455												
				達成率	100.00%	80.00%	100.00%	その他															
				計画	1	1	1	1	県費														
指標種類3	指標名称3	単位	計画	1	1	1	1	人役		0.2	0.2									見直し方向性	方向1 このまま継続	方向2	方向3
活動	+ 70-	補助事業を行った市町数	市町	実績	0	0	0	人件費		1,362	1,354												
				達成率	0.00%	0.00%	0.00%	事業の概要															
				計画				生徒一人一人がエネルギー等の理解を深めることを目的として、エネルギー等について特色ある教育活動を実践している学校等に対し、研究活動のための環境整備等の支援を行う。															
実施期間	初期	終期	事業の概要																				
	H19	予定・見込があれば記入	生徒一人一人がエネルギー等の理解を深めることを目的として、エネルギー等について特色ある教育活動を実践している学校等に対し、研究活動のための環境整備等の支援を行う。																				

14 県立高等学校・中等教育学校空調設備整備事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり							
指標種類1	指標名称1	単位	計画	921	921	914	914	事業費計	224,688	267,015	281,090	286,966	評価	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり							
成果	+ 70-	空調設備設置普通教室数	教室	実績	921	921	914	国費															
				達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他	224,688	267,015	281,090	286,966											
				計画	59.1	60.0	60.3	61.3	県費														
指標種類2	指標名称2	単位	計画	59.1	60.0	60.3	61.3	事業費計	193,204	261,373	277,214	見直し方向性					方向1 見直し(拡大・縮小・執行方法の改善等)	方向2	方向3 成果向上				
成果	+ 70-	全教室(普通教室+特別教室)への空調設備設置率	%	実績	58.0	60.3	61.3	国費															
				達成率	98.14%	100.50%	101.66%	その他	193,204	261,373	277,214												
				計画				県費															
指標種類3	指標名称3	単位	計画					人役		0.6	0.6									見直し方向性	方向1 見直し(拡大・縮小・執行方法の改善等)	方向2	方向3 成果向上
				実績				人件費		4,084	4,060												
				達成率	-	-		事業の概要															
				計画				近年の気温上昇に伴い、熱中症などが懸念される夏の生徒の体調管理には、空調設備の整備が必要不可欠であることから、生徒が長時間利用する普通教室等において、空調設備を整備し、安心して学校生活を送ることができるよう、教育環境の改善を図る。															
実施期間	初期	終期	事業の概要																				
	R元	予定・見込があれば記入	近年の気温上昇に伴い、熱中症などが懸念される夏の生徒の体調管理には、空調設備の整備が必要不可欠であることから、生徒が長時間利用する普通教室等において、空調設備を整備し、安心して学校生活を送ることができるよう、教育環境の改善を図る。																				

15 産業教育ICT機器整備事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	5成果向上している	向上余地	3大きく成果向上する							
指標種類1	指標名称1	単位	計画	32	32	32	32	事業費計	83,669	101,409	100,783	96,674	評価	5成果向上している	向上余地	3大きく成果向上する							
成果	+ 70-	職業教育に使用するICT機器の整備校数	校	実績	32	32	32	国費															
				達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他	83,669	101,409	100,783	96,674											
				計画	86	86	100	100	県費														
指標種類2	指標名称2	単位	計画	86	86	100	100	事業費計	83,530	101,249	100,783	見直し方向性					方向1 このまま継続	方向2	方向3				
成果	+ 70-	最新機器の整備率(6年以内に整備したシステム数÷システム必要数41セット)	%	実績	86	86	100	国費															
				達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他	83,530	101,249	100,783												
				計画				県費															
指標種類3	指標名称3	単位	計画					人役		0.2	0.2									見直し方向性	方向1 このまま継続	方向2	方向3
				実績				人件費		1,362	1,354												
				達成率	-	-		事業の概要															
				計画				職業学科において、実社会で通用するICT技術を習得し、卒業時に習得している技術と就職後に必要とされる技術とのギャップを低減するため、現在の老朽化したパソコンを更新し、最新のICT機器を整備する。															
実施期間	初期	終期	事業の概要																				
	H27	予定・見込があれば記入	職業学科において、実社会で通用するICT技術を習得し、卒業時に習得している技術と就職後に必要とされる技術とのギャップを低減するため、現在の老朽化したパソコンを更新し、最新のICT機器を整備する。																				

16 県立学校ICT活用教育環境整備費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R4)	コスト(単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	5成果向上している	向上余地	3大きく成果向上する
指標種類1	指標名称1	単位	計画	398	302	538	269	269	269	事業費計 国費 その他 県費	249,710	290,178	278,117	296,699	評価	整備対象教室1507教室への無線LAN環境は元年度中に構築を完了し、利用を開始しており、令和3年度9月補正により400教室増設した。電子黒板についても令和3年度までに計1,238台を整備完了し、県立学校のICT教育環境は大きく向上した。		
成果	+	70-	電子黒板整備済教室数	室	実績	398	302	538	249,710		290,178	185,091	43,817					
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%			249,710		290,178	93,026	252,882					
指標種類2	指標名称2	単位	計画	26.4	46.4	82.1	100	100	100	事業費計 国費 その他 県費	243,932	286,913	275,038	決算	方向1 方向2 方向3	このまま継続		
成果	+	70-	整備予定教室(1507室)に対する電子黒板整備率	%	実績	26.4	46.4	82.1	243,932		286,913	182,013						
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%			243,932		286,913	93,025						
指標種類3	指標名称3	単位	計画			100	100	100	100	事業費計 国費 その他 県費	0.6	0.6	0.6	見直し方向性	電子黒板は、令和4年度までの段階的な整備を予定していたものを前倒し、令和3年度2月補正予算により整備することとしており、無線LAN環境は、毎年一定の維持管理費用が必要である。			
成果	+	70-	整備したICT機器を授業及び家庭学習で活用している学校	%	実績			100	0.6		0.6	0.6						
			達成率	-	-	100.00%			4,084		4,060	3,630						
実施期間	初期	終期	事業の概要							人役	0.6	0.6	0.6					
	R元	予定・見込があれば記入	生徒の思考力・判断力・表現力等の新しい時代に必要となる資質・能力を育成するためには、ICT環境整備が重要であり、国の整備方針に基づき、県立学校の全普通教室と特別教室各校6部屋に無線LAN環境と電子黒板を整備するもの。							人件費	4,084	4,060	3,630					

17 がん教育推進事業費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R?)	コスト(単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり	
指標種類1	指標名称1	単位	計画	100	100	100	100	100	-	事業費計 国費 その他 県費	857	1,106	1,219	993	評価	コロナ禍において、教職員研修会は中止としたが、推進モデル校による公開授業では、外部講師を活用した授業を展開し、参加者にモデルプランを提示することができた。また、推進協議会をオンラインで開催し、各委員が専門的な立場から意見交換を行った。			
成果	+	70-	がん教育実施後の成果状況	%	実績	100	100	100	857		1,106	1,219	993						
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%													
指標種類2	指標名称2	単位	計画	2	2	1	2	-	-	事業費計 国費 その他 県費	806	597	644	決算	方向1 方向2 方向3	このまま継続			
活動	+	70-	がん教育のモデル校数	校	実績	2	2	1	806		597	644							
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%													
指標種類3	指標名称3	単位	計画							事業費計 国費 その他 県費	0.3	0.3	0.3	見直し方向性					
			実績						0.3		0.3	0.3							
			達成率	-	-	-			2,042		2,030	1,815							
実施期間	初期	終期	事業の概要							人役	0.3	0.3	0.3						
	H26	予定・見込があれば記入	学校での健康教育全体の中で「がん」教育を推進し、がんに対する正しい理解とがん患者に対する正しい認識及び命の大切さに対する理解を深めさせるための取組を図る。							人件費	2,042	2,030	1,815						

18 教育情報通信ネットワークシステム維持管理費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R?)	コスト(単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり	
指標種類1	指標名称1	単位	計画	100	100	100	100	100	-	事業費計 国費 その他 県費	186,246	188,140	188,089	204,589	評価	ESnetへの学校接続率については、平成30年度に接続率100%を達成した。 ESnetへの外部アクセス数については、年々増加傾向であるが、令和3年度途中にアクセス制御の設定変更に伴い、前年度から微減した。ただし、非常変災の発生頻度等により、年間のアクセス数が大きく変動する可能性がある。			
成果	+	70-	ESnetへの学校接続率	%	実績	100	100	100	186,246		188,140	188,089	204,589						
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%													
指標種類2	指標名称2	単位	計画	1,790百万	2,320百万	2,470百万	2,230百万	-	-	事業費計 国費 その他 県費	186,225	187,767	187,918	決算	方向1 方向2 方向3	このまま継続			
成果	+	70-	ESnetへの外部アクセス数	件数	実績	2,320百万	2,470百万	2,230百万	186,225		187,767	187,918							
			達成率	129.61%	106.47%	90.28%													
指標種類3	指標名称3	単位	計画	2,100	2,100	3,100	3,100	-	-	事業費計 国費 その他 県費	186,225	187,767	187,918	見直し方向性					
活動	+	70-	インターネット回線接続速度	Mbps	実績	2,100	3,100	3,100	186,225		187,767	187,918							
			達成率	100.00%	147.62%	100.00%													
実施期間	初期	終期	事業の概要							人役	1.7	1.7	1.7						
	H13	予定・見込があれば記入	平成13年度から運用を開始し、県内の小・中学校及び県立学校をネットワークで結ぶ教育情報通信ネットワークシステムにより、インターネットを使った情報の収集・発信、電子メール等を活用したコミュニケーションの手段として学習活動等に活用している。							人件費	11,571	11,503	10,285						

19 水産実習船運営費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	コスト(単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい	
指標種類2	指標名称2	単位	計画	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	事業費計 国費 その他 県費	91,437	114,989	93,833	180,734	評価				
成果	+	70-	卒業生に占める五級海技士試験優遇措置対象者の比率	%	実績	100.0	100.0	100.0	91,437		114,989	93,833	180,734						
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%			4,821		4,326	4,326	3,327						
指標種類3	指標名称3	単位	計画	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	事業費計 国費 その他 県費	86,616	110,663	89,507	177,407	決算	方向1 方向2 方向3	このまま継続		
成果	+	70-	海洋技術科の卒業生に占める水産関係への進学・就職者の比率	%	実績	100	100	100	86,616		110,663	89,507	177,407						
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%													
指標種類1	指標名称1	単位	計画	122	121	121	118	-	-	事業費計 国費 その他 県費	88,918	103,948	90,516	見直し方向性					
活動	+	70-	えひめ丸を使って行う実習	日	実績	122	96	116	88,918		103,948	90,516							
			達成率	100.00%	79.34%	95.87%													
実施期間	初期	終期	事業の概要							人役	0.1	0.1	0.1						
	S32	予定・見込があれば記入	宇和島水産高校において座学で学習した知識・技術を、長期に亘る乗船実習を通して実際に活用できる生きた知識・技術として効率的に身につけさせるため、実習船えひめ丸を使用して、マクロはえ縄の調査操業の実習航海を実施する。							人件費	681	677	605						

20 小・中学校へき地教育振興費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり				
指標種類1	指標名称1	単位	計画	70	70	70	70	事業費計	104	104	104	104	評価 令和2年度から延期となっていた研究大会の開催により、へき地等学校の研修の充実が図られるとともに、複式学級学習指導資料の作成・周知により、各学校での活用が進められている。							
成果	+	70-	複式学級学習指導資料の活用率	%	実績	87	90	99	国費								見直し方向性 方向1 このまま継続 方向2 方向3			
					達成率	124.29%	128.57%	141.43%	その他											
					指標種類2	指標名称2	単位	計画	50	200	200	50								
活動	+	70-	研究大会又は研修会参加者数	人	実績	62	0	150	国費	70	43	78					人役	0.3	0.3	0.3
					達成率	124.00%	0.00%	75.00%	その他											
					指標種類3	指標名称3	単位	計画	2	2	2	2								
実施期間	+	70-	へき地小規模校訪問指導回数	回	実績	2	0	2	国費								事業の概要			
					達成率	100.00%	0.00%	100.00%	その他											
					初期	終期	事業の概要													
S36		へき地過疎地域の教育水準を高めるため、へき地教育の研究実践及び研究会・研究大会等の開催、複式学級の指導の充実を図る資料作成等を行う。																		

21 学校評議員制度推進事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい				
指標種類1	指標名称2	単位	計画	174	168	162	162	事業費計	924	893	862	862	評価 学校評議員から出た様々な意見をもとに、教員の意識改革や学校運営の改善を進め、様々な教育活動において、開かれた学校づくりが推進された実績がある。評議員の意見がより活発に出るようとして、委員会をさらに活性化することはできる。							
成果	+	70-	評議員会延べ開催回数	回	実績	174	168	162	国費								見直し方向性 方向1 このまま継続 方向2 方向3			
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他											
					指標種類2	指標名称1	単位	計画	290	280	270	270								
活動	+	70-	学校評議員委員嘱人数	人	実績	290	280	270	国費	426	290	276					人役	0.1	0.1	0.1
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他											
					指標種類3	指標名称3	単位	計画												
実施期間	+	70-	地域住民、有識者、企業経営者、社会福祉施設関係者等及び学校関係者からなる学校評議員会を開催し、学校運営等について幅広い知見を提言していただくことにより、学校の発展及び開かれた学校づくりの推進に寄与する。	回	実績				国費								事業の概要			
					達成率	-	-	-	その他											
					初期	終期	事業の概要													
H12		地域住民、有識者、企業経営者、社会福祉施設関係者等及び学校関係者からなる学校評議員会を開催し、学校運営等について幅広い知見を提言していただくことにより、学校の発展及び開かれた学校づくりの推進に寄与する。																		

22 中高一貫校給食委託費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	1成果向上余地が小さい				
指標種類1	指標名称1	単位	計画	100	100	100	100	事業費計	83,823	83,535	84,087	92,453	評価 既に全県立中等教育学校前期課程の生徒に給食を提供できている。							
成果	+	70-	給食実施率	%	実績	100	100	100	国費								見直し方向性 方向1 このまま継続 方向2 方向3			
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他											
					指標種類2	指標名称2	単位	計画												
活動	+	70-	給食実施率	%	実績				国費	83,823	71,535	71,962					人役	0.1	0.1	0.1
					達成率	-	-	-	その他											
					指標種類3	指標名称3	単位	計画												
実施期間	+	70-	県立中等教育学校前期課程の給食実施については、給食センターを保有する市の施設に調理を委託する。	%	実績				国費								事業の概要			
					達成率	-	-	-	その他											
					初期	終期	事業の概要													
S34		県立中等教育学校前期課程の給食実施については、給食センターを保有する市の施設に調理を委託する。																		

23 情報教育設備整備促進費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい				
指標種類1	指標名称2	単位	計画	100	100	100	100	事業費計	147,210	170,941	178,162	180,209	評価 情報教育の環境整備をすることにより、すべての生徒に高度情報通信社会に適応した資質と能力を養っている。							
成果	+	70-	ホームページを公開している学校の割合	%	実績	100	100	100	国費								見直し方向性 方向1 このまま継続 方向2 方向3			
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他											
					指標種類2	指標名称3	単位	計画	100	100	100	100								
活動	+	70-	パソコン等の情報機器を活用して指導ができる教職員の割合	%	実績	100	100	100	国費	138,662	170,282	178,161					人役	0.2	0.2	0.2
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他											
					指標種類3	指標名称1	単位	計画	2,383	2,451	2,451	2,450								
実施期間	+	70-	インターネット接続可能なパソコン台数	台	実績	2,383	2,451	2,451	国費								事業の概要			
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他											
					初期	終期	事業の概要													
H11		県立学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するためにパソコン教室及びインターネット環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図る。																		



24 通信教育運営費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり	
指標種類2	指標名称2			単位	計画	70	70	70	70	事業費計	4,407	4,456	4,246	4,246	評価 家庭の事情や学校不適應のために全日制に通うことが困難な生徒等、多様化した生徒に対応できる特色ある学校づくりを行っている。  見直し 方向性 方向1 このまま継続 方向2 方向3 ①生徒数に大きな変化はなく、旅費、需用費、役務費等の経費節減にも限界がある。②多様な生徒に対応するため、通信制課程の教育条件の整備充実及び在学する生徒の修学条件の改善を図る必要があり、通信制教育の廃止は軽々には行えない。				
成果	+	70-	在籍者数（卒業予定数）に対する卒業生の割合	%	実績	75	75	75		国費									
				達成率	107.14%	107.14%	107.14%												
指標種類1	指標名称1			単位	計画	115	115	115	115	事業費計	4,407	4,456	4,246	4,246					
活動	+	70-	スクーリングの回数	回	実績	115	115	115		国費									
				達成率	100.00%	100.00%	100.00%												
指標種類3	指標名称3			単位	計画					事業費計	3,909	3,531	3,997						
					実績					国費									
				達成率	-	-	-												
実施 期間	始期	終期	事業の概要							人役	0.1	0.1	0.1						
	S34	予定・見込 があれば記入	通信教育の運営に要する経費である。旅費は協力校4校でのスクーリング実施のための面接指導者の経費である。需用費は受講生が使用する通信教材作成及び印刷製本に必要な経費である。役務費は受講生からのレポートの添削指導に必要な経費である。							人件費	681	677	605						

4-2 事務事業管理シート（評価対象外事業）

予算施策名 ky03

特色ある教育の推進

1	デジタル化対応産業教育設備整備費	コスト (単位：千円)					コスト (単位：千円)			
		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度		R元年度	R2年度	R3年度	
	評価対象外の理由	事業費計	0	0	1062013	0	事業費計	0	0	968,407
	単年度事業	国費			354,004		国費			321,540
		その他					その他			
	評価対象外その他の理由(記述)	県費			708,009		県費			646,867
							人役			1.0
							人件費			6,050